

科目名 Course Name	哲学 Philosophy						
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡先(質問等)	オフィスパワーは担当時間外						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	哲学、西洋思想を中心に古典から近代までをディスカッション形式にて実施する。 ① 本授業を通して、自分の考えを自身の言葉で述べるようにする。 ② 西洋思想について、深い教養と洞察を身に着けることができるようにする。 ③ 哲学という正解の存在しない問題に対する解決能力を養うことができるようにする。						
授業の方法	パワーポイントを用いたディスカッション形式にて授業を行う。 補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。哲学と絡めた歴史の講義も並行して行う。 第 13～15 回授業では、生徒諸君にテーマを策定してプレゼンテーションを実施してもらう。						
学習成果	L01	社会人、職業人において必要とされる、思考力、問題解決能力を養うことができる。 プレゼンテーションを通して、自らの思想、哲学を述べることができる。					
	L02	哲学的思考を学ぶことで、多面的な視点、思考を身に着けることができる。 自分の考えを、自らの言葉で、明瞭に述べるができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業毎に実施しているレポートについて。授業について質問があった際は文書にて各自フィードバックする。						
教科書/参考図書							
履修上の留意点やルール等	① 積極的に質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。 ② 遅刻は原則認めない(やむを得なかった場合は学生支援課を通じて連絡すること) ③ 外国人生徒へ。本授業はより高い日本語技能が必要である。 (To foreign students. This class requires higher japanese language skill) ④ 定員は 20 名。 ⑤ 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に参加する積極的態、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点とする。		30		
レポート/作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもらう。授業に対する理解が反映されていた場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		30		
発表	プレゼンテーションを実施してもらう。発表内容と質疑応答について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。	40			
小テスト					
試験					
その他					
合 計		40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等についての説明)、講義内容についての事前案内
	事前・事後学習	本授業を通して自分が何を学びたいか、事前に設定しておくこと。
2	授業内容	古典哲学① 哲学とは何か、ソクラテス以前の哲学者たち
	事前・事後学習	ソクラテスの「無知の知」について、その概念を予習しておくこと。
3	授業内容	古典哲学② ポリス民主制の発展とソフィスト、ソクラテスと無知の知
	事前・事後学習	ソクラテスの「無知の知」について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと。
4	授業内容	古典哲学③ プラトンのイデア論と哲人王、アリストテレスと政治学、テオリア的生活
	事前・事後学習	ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想について、自分なりの整理をしておくこと。
5	授業内容	古典哲学④ ポリスの衰退とヘレニズム哲学、犬儒学派、前期ストア派、エピクロス派
	事前・事後学習	マルクス・アウレリウスの『自省録(神谷美恵子訳、岩波文庫)』を読んでおくこと。
6	授業内容	古典哲学⑤ ローマ帝国の発展、後期ストア派、セネカとマルクス・アウレリウスの思想
	事前・事後学習	キリスト教の歴史について、その概念を予習しておくこと。
7	授業内容	中世哲学① ユダヤ教の誕生とキリスト教の成立、古代ローマにおけるキリスト教父哲学
	事前・事後学習	普遍闘争について、その概念を予習しておくこと。
8	授業内容	中世哲学② 暗黒時代のキリスト教と十字軍、トマス・アキナスと普遍論争
	事前・事後学習	カトリックとプロテスタントについて、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと。
9	授業内容	中世哲学③ キリスト教の権威低下とルネサンス、ルターとカルヴァンの宗教改革
	事前・事後学習	18世紀の啓蒙思想について、その概念を予習しておくこと。
10	授業内容	近代哲学① 啓蒙思想と市民革命、ホッブズとルソーの社会契約説
	事前・事後学習	弁証法と功利主義について、その概念を予習しておくこと。
11	授業内容	近代哲学② ヘーゲル弁証法、産業革命、功利主義、プレゼンテーション案内
	事前・事後学習	実存主義について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと。
12	授業内容	近代哲学③ 実存主義、キルケゴールと主体的真理、ニーチェと超人思想
	事前・事後学習	プレゼン発表者は準備をしておくこと。
13	授業内容	学生によるプレゼンテーション①
	事前・事後学習	プレゼン発表者は準備をしておくこと。
14	授業内容	学生によるプレゼンテーション②
	事前・事後学習	プレゼン発表者は準備をしておくこと。
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション③
	事前・事後学習	これまでの授業内容について振り返りを行うこと。